

平成 20 年度 事業報告

1. 事業報告

寄附行為第 5 条による平成 20 年度の事業概要は次の通りである。

(1) 賛助会員の動向

平成 20 年度の入会は 11 件、退会は 37 件となったため、会員数は 26 会員減少して、508 会員となった。今後、会員サービスを充実させるとともに、当会の研究成果を有効に活用して、会員拡大に努めたい。なお、会費実勢額は、3 月末で 1 億 2,154 万円である。

① 会員数 508 会員 (平成 21 年 3 月末)

	合 計	会員種別			
		維 持	普 通	個 人	町 村
20年度期首	534	79	430	23	2
入会	11	0	8	3	0
退会	37	0	32	5	0
会員種別変更	2	1	1	0	0
増減	△ 26	△ 1	△ 23	△ 2	0
20年度期末	508	78	407	21	2

② 会費実勢額 1 億 2,154 万円 (平成 21 年 3 月末)

(2) 機関誌・研究報告の刊行

定期刊行物の九州経済調査月報では、昨年来の原油高、資源高、世界同時不況などの激しい経済状況の変化に対応し、景気動向の分析を強化した。5 月号では 5 年ぶりに九州地域総合指数(CI)を改訂し、1 月号では平成 21 年度の九州経済の見通しを発表した。また、7 月号では組み込みソフトウェア産業、12 月号ではカーエレクトロニクスなど新しい産業の担い手を紹介した。新シリーズとしては、5 月号から「ドラマティック！九州経済」、7 月号から「九州の大規模工場」を開始した。「ドラマティック！九州経済」では、創立 60 周年事業として実施している企画展の内容を誌面でも展開した。「九州の大規模工場」は、地域で存在感をもつ大規模工場と地域との関係を分析した。

九州経済調査月報付録のデータ九州では、恒例の海外進出企業一覧、自動車関連部品工場一覧、市町村財政ランキングに加え、九州・山口の自動車保有台数の分析を行った。

九州経済白書は、「世界同時不況と地域企業」をテーマに 2 月に刊行した。世界同時不況の影響や地域経済が抱える構造問題を分析し、地域経済浮揚のカギを握る地域企業(キーカンパニー)の振興策を提案した。

①九州経済調査月報

4月号	九州における鉄鋼産業の現状と課題 『アジア経済講演会』国際経済社会の中のベトナム経済 ミネラル・ウォーター 増加する外国人登録者	(源流を辿る) (One point 解説)
5月号	強まる景気の減速感 九州地域総合指数(九州CI)の改訂について コンクリート 株式会社 喜多屋「減圧蒸留機」 都市計画法改正で一段落ついた大型集客施設の出店	(九州の景気) (源流を辿る) (ドラマティック!九州経済) (One point 解説)
6月号	九州における博物館関連産業の実態と課題 都市における屋台の機能とその変化 折込広告出稿統計『新聞折込広告から景気動向を探る』(新・景気指標を読む) 新日本製鐵株式会社 八幡製鐵所・八幡技術研究部 「重荷重・貨物鉄道用レール」 観光型施設の宿泊が中心の外国人旅行者	(ドラマティック!九州経済) (One point 解説)
7月号	成長が期待される九州の組込みソフトウェア産業 九州における企業の提携戦略と事業所展開 三井化学株式会社大牟田工場 TOTOウォシュレットテクノ株式会社「ウォシュレット」 拡大する中東向け輸出	(九州の大規模工場) (ドラマティック!九州経済) (One point 解説)
8月号	弱含みで推移 鯉節 味の素株式会社九州事業所 カクイ株式会社「衛生材料連続精錬漂白乾燥機」 中山間地域、漁業地域で急増する九州・山口の外国人	(九州の景気) (源流を辿る) (九州の大規模工場) (ドラマティック!九州経済) (One point 解説)
9月号	0.6%成長へ下方修正(2008年度九州経済の見通し(改訂)) 2008年度九州設備投資動向 住友化学株式会社大分工場 株式会社 丸和「セルフサービス方式」 賃上率、4年ぶりに前年を下回る	(九州の大規模工場) (ドラマティック!九州経済) (One point 解説)
10月号	拡がりをみせ始める九州の陸上養殖 公共交通空白地域における新たな地域公共交通の展開 ロイヤル・グループ(ロイヤルホールディングス株式会社) 「セントラルキッチン」 非正規就業者の増加で伸びる正社員の就労時間	(ドラマティック!九州経済) (One point 解説)

11月号	調整局面へ 真珠	(九州の景気) (源流を辿る)
	日本特殊陶業株式会社鹿児島宮之城工場	(九州の大規模工場)
	西日本鉄道株式会社「高速バス3列独立シート」	(ドラマティック!九州経済)
	開業率が廃業率を下回る九州・山口の事業所	(One point 解説)
12月号	カーエレが開く九州の新たな可能性 グローバル化の深化と北部九州を中心とする地域中小企業の課題	
	株式会社 ホンダロック本社宮崎工場	(九州の大規模工場)
	福岡運輸株式会社「コールドチェーン」	(ドラマティック!九州経済)
	ブレーキかかる北部九州における自動車産業の集積	(One point 解説)
1月号	外需低迷で2009年度の経済成長率マイナス1.8%に(2009年度九州経済の見通し) 『経済講演会』講演録～食料・資源高と企業経営	
	株式会社 たらみ小長井工場	(九州の大規模工場)
	株式会社 エルム「光ディスク自動修復装置」 変化する消費の場	(ドラマティック!九州経済)
	～百貨店売上高を上回るコンビニエンスストア	(One point 解説)
2月号	急速に悪化 進行する内食回帰傾向	(九州の景気)
	株式会社 トクヤマ 徳山製造所	(九州の大規模工場)
	松元機工株式会社「可搬式茶摘採機」	(ドラマティック!九州経済)
	再び低下した県内就職率	(One point 解説)
3月号	私立大学の経営戦略～地方大学の存続と発展のために	
	南西石油株式会社本社工場	(九州の大規模工場)
	株式会社石井工作研究所「ソフトプレス」	(ドラマティック!九州経済)
	全国の16%の軽自動車走る九州・沖縄	(One point 解説)

②データ九州（九州経済調査月報付録）

- (No.1124) 九州・山口地場企業の海外進出 1986～2007
- (No.1125) 九州・山口の市町村財政ランキング — 市町村別決算状況 1996・2006年度 —
- (No.1126) 九州・山口の自動車関連部品工場等一覧 2008
- (No.1127) 九州・山口の自動車保有台数

③研究報告

- 九州経済白書 2009年版「世界同時不況と地域企業」 A4 190頁
- 図説 九州経済 2009 A4 112頁

④特別研究報告

- 九州地域における農水産(加工品)輸出可能性調査報告書 A4 50頁
- 人口の将来推計ならびにUJIターンに関する財政効果分析調査 A4 48頁
- 日韓海峡圏の新たな観光戦略 A4 67頁
- IT産業集積のための基礎調査報告書 A4 104頁
- 2025年の九州経済～道州制導入後の九州経済の長期予測～ A4 73頁

これからの道州制の議論に向けて 熊本県道州制周知啓発事業報告書	A4	148 頁
SHIQ自立化プラン 元気な世界のシリコンアイランドをめざして	A4	62 頁
松浦市男女共同参画計画 計画期間 FY2008～FY2016	A4	49 頁
福岡市ロボット関連産業振興戦略(ロボット関連企業創出戦略調査)報告書	A4	96 頁
半導体クラスターのイノベーション 日中韓台の競争と連携	A5	266 頁
地場企業の自動車産業への新規参入事例研究	A4	130 頁
福岡県における温室効果ガス排出量取引調査報告書	A4	81 頁
平成 20 年度政策金融評価報告書	A4	89 頁
光電系エコデバイス産業の創造に向けた研究開発と広域連携のあり方 ～薄膜系太陽電池産業の国際競争力強化と新ビジネス創造に向けて～	A4	114 頁
北東アジアにおける 12 フィートコンテナの普及拡大に向けた調査報告書	A4	102 頁
太陽光発電シンポジウム&ビジネス交流会要旨集 ～ソーラーアイランド九州の実現を目指して～	A4	72 頁
インドシナ半島における九州企業の経済交流拡大可能性調査報告書	A4	159 頁
インドシナ半島・タイ国経済セミナー	A4	46 頁
北九州の半導体関連企業	A4	4 頁
(調査研究報告累算 845 点)		

⑤メールマガジン「九経調ニュースレター」

メールマガジン配信件数	41 件
メールマガジン登録件数	435 件 (273 会員)

(3)資料の収集・整理・交換及び利用の促進

経済図書館の受入図書資料数は1,701点。3月末現在の所蔵図書資料数は298,607点。閲覧等は1,757件である。当会ホームページへのアクセス件数は94,452件であった。

①経済図書館事業

受入図書資料数	(平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月)	1,701 点
所蔵図書資料数	(平成 21 年 3 月末)	298,607 点
閲覧・貸出・問い合わせ	(平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月)	1,757 件
ホームページアクセス件数	(平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月)	94,452 件

(4) 講演会・研究会等の開催

研究会・講演会では、恒例の九州経済白書説明会を九州各地 12 ヶ所で開催した。このほか、内閣府の経済財政白書講演会、九経調交流会、アジア経済講演会等を開催した。また、平成 19 年度に続き、平成 20 年度も各地銀関係の調査担当者を対象に、統計データの分析方法やアンケート、ヒアリングの手法などの研修を目的とした調査技法セミナーを実施した。

① 講演会

・第 42 回九州経済白書説明会(平成 20 年度)

地区	日程	会場	説明者	共催・後援機関	参加者数
福岡	3月3日	福岡銀行本店 10階講堂	情報研究部次長 片山 礼二郎	(株)ふくおかフィナンシャルグループ 福岡商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	300
北九州	3月24日	毎日西部会館 9階大ホール	情報研究部主任研究員 豆本 一茂	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (社)西日本工業倶楽部 北九州商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	90
久留米	3月17日	筑邦銀行本店	情報研究部次長 片山 礼二郎	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所	120
佐賀	3月26日	佐賀銀行本店	情報研究部主任研究員 豆本 一茂	(株)佐賀銀行	45
長崎	3月5日	長崎県美術館 2階ホール	情報研究部主任研究員 豆本 一茂	(株)十八銀行 (株)長崎経済研究所	90
佐世保	3月11日	親和銀行本店 別館9階ホール	情報研究部次長 片山 礼二郎	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)親和銀行 佐世保商工会議所 (株)FFGビジネスコンサルティング	80
熊本	3月10日	熊本全日空 ホテルニュースカイ	情報研究部主任研究員 豆本 一茂	(株)肥後銀行 (財)地域流通経済研究所 熊本経済同友会	105
大分	3月19日	大分銀行本店 7階大ホール	情報研究部主任研究員 豆本 一茂	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	80
宮崎	3月23日	第一宮銀ビル 8階大会議室	情報研究部次長 片山 礼二郎	(株)宮崎銀行 (財)みやぎん経済研究所	75
鹿児島	4月1日	かごしま県民交流センター 大研修室第3	情報研究部次長 片山 礼二郎	(株)鹿児島銀行 (株)鹿児島地域経済研究所	70
沖縄	3月6日	ロワジュールホテル那覇 1階ホール	情報研究部次長 片山 礼二郎	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	55
山口	3月12日	シーモールパレス ルビーの間	情報研究部主任研究員 豆本 一茂	(株)山口銀行 (財)山口経済研究所	60

参加者数合計 1,170 名

・在福岡アメリカ領事館講演会(共催)

実施時期 平成 20 年 9 月 30 日 於 福岡市
内 容 「日本における市民社会の二重構造」
講 師 ワシントン大学 ヘンリー・M・ジャクソン国際研究大学院
日本研究学科長 ロバート・ペッカネン 氏
参加者数 42 名
主 催 在福岡アメリカ領事館広報部

・経済講演会(共催)

実施時期 平成 20 年 12 月 4 日 於 福岡市
講 演① 「2008 年版経済財政白書～リスクに立ち向かう日本経済」
講師:内閣府 大臣官房審議官(経済財政分析担当) 湯元 健治 氏
講 演② 「食料・資源高と企業経営」
講師:丸紅経済研究所 所長 柴田 明夫 氏
参加者数 211 名
共 催 ふくおかフィナンシャルグループ

・九経調交流会・特別講演会(開催)

実施時期 平成 21 年 3 月 23 日 於 福岡市
内 容 世界金融危機下での日本経済の展望と課題～世界経済の転機は日本のチャンス～
講 師 (株)日本総合研究所 副理事長 高橋 進 氏
参加者数 164 名

・アジア経済講演会(共催)

実施時期 平成 21 年 1 月 26 日 於 福岡市
内 容 「メコン地域経済回廊開発とラオス・カンボジアへの投資」
講 師 日本貿易振興機構 アジア経済研究所 主任研究員 石田 正美 氏
参加者数 70 名
共 催 福岡貿易会

②研究会等

・釜山出身国会議員福岡訪問団と九経調との意見交換会(開催)

実施時期 平成 20 年 5 月 14 日 於 福岡市
内 容 九州経済の紹介と日韓海峡圏交流の現状
参加者数 19 名

・調査技法セミナー(開催)

実施時期 平成 20 年 6 月 5 日～6 日 於 福岡市
内 容 調査のための基本テクニック、
ヒアリング手法、統計解析の方法の解説 等
講 師 当会研究員、特別講演:(株)ゼンリンプリンテックスより
参加者数 20 名

・平成 20 年度九州北部 3 県研究機関連絡会議総会(開催)

実施時期 平成 20 年 6 月 30 日 於 福岡市
内 容 総会
参加者数 13 名

- ・平成 20 年度地方シンクタンク協議会 九州・沖縄ブロック総会・交流会(参加)
 実施時期 平成 20 年 5 月 16 日 於 北九州市
 内 容 「道州制導入後の九州経済の長期予測」
 参加者数 14 名
- ・平成 20 年度九州・山口地方銀行調査担当部長会議(参加)
 第 1 回 実施時期 平成 20 年 5 月 22 日～23 日 於 佐世保市
 第 2 回 実施時期 平成 20 年 11 月 6 日～7 日 於 那覇市
- ・平成 20 年度地域経済動向インタビュー(参加)
 第 1 回 実施時期 平成 20 年 7 月 25 日 於 福岡市
 内 容 「九州地域経済の各種産業の動向について」
 第 2 回 実施時期 平成 21 年 2 月 12 日 於 福岡市
 内 容 「九州地域経済の各種産業の動向について」
- ・日韓海峡圏研究機関協議会(参加)
 内 容 総会
 実施期間 平成 20 年 10 月 8 日～10 日 於 昌原市

(5)九州地方の経済に関する研究・調査ならびに地方経済に関する調査の助成促進

平成 20 年度の受託調査は 53 件、自主研究は 3 件である。平成 20 年度の受託調査は、企画提案に力を入れ、企画コンペや競争入札で採択される案件も増加し、受託単価もやや高まった。しかし、地方財政の悪化や景気後退により依然受託単価は低迷しており、支出率が高い調査も多かった。

平成 20 年度に、新たな分野として取り組んだ調査は、環境関連では太陽光発電関連の調査、レアメタルリサイクル調査、排出権取引調査がある。アジア関連では、韓国と九州でつくる超広域経済圏の調査のほか、インドシナの調査では九経調として初めてラオスとカンボジアを訪問調査した。ソフト施策に関しては、九州の子育て支援調査も実施した。また、全国規模の調査として地域別経済動向総合指標調査を行った。引き続き得意な分野として取り組んでいる調査としては、景気動向分析、半導体関連調査、観光集客関連調査、経済波及効果分析等がある。

【分野別受託調査一覧】

(景気)

- | | | |
|---|----------------------|----------------------------|
| 1 | 地域別経済動向総合指標の作成に関する調査 | 内 閣 府 |
| 2 | 九州地域消費動向指数の更新に係わる業務 | 九 州 経 済 産 業 局 |
| 3 | 内閣府地域経済動向基礎調査(九州地域) | (財) 日 本 経 済 研 究 所 |
| 4 | 内閣府景気ウォッチャー調査(九州地域) | 三 菱 U F J リサーチ&コンサルティング(株) |

(社会資本整備)

- | | | |
|---|---------------------------|-------|
| 5 | 国際コンベンション施設整備の可能性に関する調査研究 | 福 岡 県 |
| 6 | 日豊本線の高速化整備に関する調査 | 宮 崎 県 |

7	福岡市のスポーツ施設需要推計等業務委託	福	岡	市
8	北九州空港アクセス鉄道に関する基礎調査	北	九	州
9	九州の政策課題と主要プロジェクトに関する調査	自	主	研
	(地域振興)			
10	地域に持続的な経済成長をもたらすための人材活用等に関する調査	九	州	経
11	国内外からの観光集客人口の増加による地域経済活性化の可能性調査	九	州	経
12	九州企業の子育て支援調査	(財)	九	州
13	九州の目指す姿、将来ビジョン作業チーム会合支援業務	(社)	九	州
14	社会資本整備(人口問題)に関する調査・分析業務	(社)	九	州
15	「フード・アイランド九州」の形成に向けた追加調査	九	州	電
16	集客施設の経済波及効果分析調査	福	岡	地
17	排出権取引関連調査	福	岡	県
18	福岡市ビジターズ・インダストリー協議会支援業務	福	岡	市
19	関門地域の未来を考える研究会支援業務	北	九	州
20	戦略的広域連携可能性調査(西九州軸)～九州新幹線全線開通を見据えた本市の広域戦略調査～	北	九	州
21	「北九州市におけるアジア研究・教育体制のあり方」調査	北	九	州
22	政策金融評価に係る調査・分析等の支援業務	沖	縄	開
	(産業振興)			
23	新規事業発展基盤調査事業(BI 入居・卒業企業への実態調査を踏まえた広域的なベンチャー支援モデルの構築)	九	州	経
24	九州をモデル地域とした次世代ロボット市場拡大可能性調査	(財)	企	業
25	光電系エコデバイス広域連携調査	(財)	機	械
26	試作サポート制度(Shisaku 工房)創設に係る基礎調査	(財)	九	州
27	太陽光発電関連機械工業調査	(財)	九	州
28	北九州半導体企業立地マップ(シリコンベイ北九州マップ)作製業務	(財)	北	九
29	太陽電池のリユース・リサイクルに関する基礎調査委託業務	(財)	北	九

30	車載ソフトウェア業界動向調査業務委託	(財)北九州産業学術推進機構
31	九州におけるデジタルコンテンツ産業の振興に関する調査	(社)九州経済連合会
32	「九州の産業発展戦略に関する共同研究」の自動車に関する共同研究業務	福岡銀行(株)
33	「九州の産業発展戦略に関する共同研究」の半導体産業に関する共同研究業務	福岡銀行(株)
34	レアメタルリサイクル調査	福岡県
35	半導体関連企業発掘調査	福岡市
36	北九州における産業誘致に係る経済波及効果調査業務委託	北九州
37	北九州市におけるパワーエレクトロニクス産業に関する基礎調査	北九州市
38	成長産業戦略推進協議会の企画・運営及び分析調査業務	北九州
39	LED 産業動向調査	北九州
40	北九州市のコミュニティ・ビジネスの現状と産業化の可能性に関する調査	北九州
41	九州・山口の地域産業の新たな挑戦に関する調査	自主研究
(地方行財政)		
42	基本構想策定支援業務	北九州
43	平成の市町村合併と地域経営に関する調査	自主研究
(アジア)		
44	タイを中心としたインドシナ半島における九州企業の経済交流拡大可能性調査	九州経済産業局
45	北東アジアにおける 12 フィートコンテナの普及拡大に向けた調査	九州運輸局
46	知的クラスター・友景プロジェクトの台湾における展開可能性調査	(財)福岡県産業・科学技術振興財団
47	九州地域と韓国南部(釜山等)の超広域経済連携モデル策定日韓合同調査	(財)日韓産業技術協力財団
48	インドシナ関連情報源収集業務	ジェトロ福岡貿易情報センター
49	「九州の産業発展戦略に関する共同研究」の対アジア交流戦略に関する共同研究業務	福岡銀行(株)
50	福岡ー釜山交流関連調査	福岡市
51	東アジア経済交流推進機構ものづくり部会調査	北九州
52	中国(天津市)環境ビジネス展開可能性調査	北九州
53	佐世保～釜山間国際航路開設に伴う輸出入貨物量及び旅客需要予測業務	佐世保市

(シンポ等)

54 The 8th International Workshop on Microelectronics
Assembling and Packaging

九州半導体イノベーション協議会
アジア半導体機構(ASTSA)

55 九州・地域経営研究会支援業務

(財)九州地域産業活性化センター

56 国際エレクトロニクス・ビジネスシンポジウム 企画・運営
業務委託

(財)西日本産業貿易コンベンション協会

(6)その他の事業

講師派遣は 51 件である。テレビ番組への出演や、マスコミからの取材にも積極的に対応している。大学の非常勤講師として6名を派遣した。その他、福岡経済同友会、アジア半導体機構、専門図書館九州地区協議会の事務局を受託している。

①講師派遣(51件)

期 日	テ ー マ	派 遣 先	講 師
4月11日	2008年版九州経済白書「地域浮沈の分水嶺」	(株)西日本新聞社、西日本会	片山次長
4月16日	道州制について	三菱商事(株)九州支社	高木常務理事
4月17日	2008年版九州経済白書「地域浮沈の分水嶺」	九州電力(株)東京支社	片山次長
4月25日	2008年版九州経済白書「地域浮沈の分水嶺」	九州ナショナルパナソニック会	八尋部長
4月30日	2008年版九州経済白書「地域浮沈の分水嶺」	九州電力(株)	片山次長
5月22日	九州の景気の現状と見通し	三菱電機(株)九州支社	片山次長
6月6日	九州の景気の現状と見通し	九州商工会議所連合会	片山次長
6月10日	九州における観光と交通(座談会)	(財)運輸調査局	高木常務理事
6月13日	九州の景気の現状と見通し	自衛隊 福岡地方協力本部	片山次長
6月14日	日中の地域間経済交流の発展に向けて	黒竜江省社会科学院	高木常務理事
6月14日	福岡経済の現状と見通し	(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会西日本支部	片山次長
6月17日	2008年版九州経済白書「地域浮沈の分水嶺」	(社)福岡銀行協会	豆本主任研究員
6月25日	日本、九州経済と不動産市況の行方	(社)福岡県不動産鑑定士協会	片山次長
6月30日	九州経済の状況と不動産市況	(株)ビル経営研究所	片山次長
7月12日	九州地域の可能性とアジア交流の成長戦略	中小企業基盤整備機構九州支部	高木常務理事
7月17日	最近の韓国人観光客の動向について	北九州商工会議所	田代次長
7月27日	2008年版九州経済白書「地域浮沈の分水嶺」	日本経営診断学会九州部会	片山次長
7月28日	「三池港を核とした地域振興」トークセッション	三池港開港100周年記念事業実施本部	大谷研究主査
7月28日	「九州・東アジアの物流事情と三池港」基調講演	三池港開港100周年記念事業実施本部	加峯主任研究員
8月6日	ドラマティック!九州経済	(株)西日本新聞社	八尋部長
8月22日	九州経済の中期展望	日本情報技術取引所九州本部	縄田次長
8月25日	九州における道州制	全国若手市議会議員の会	高木常務理事
8月27日	ドラマティック!九州経済	(社)西日本工業倶楽部	八尋部長
9月1日	2008年版九州経済白書「地域浮沈の分水嶺」	日本労働組合総連合会福岡県連合会	豆本主任研究員
9月2日	地域経済情勢とまちづくり戦略	福岡県筑前町	片山次長
9月6日	2008年版九州経済白書「地域浮沈の分水嶺」	(株)宮崎太陽銀行	片山次長
9月4日	九州の産業発展と今後の物流	九州運輸局 鹿児島運輸支局	田代次長
9月27日	道州制を踏まえた九州地域・経済の動向	スルガ銀行(株)	高木常務理事
9月29日	九州経済、福岡県経済の見通し	福岡県生コンクリート工業組合	片山次長
10月12日	2009年度九州経済の見通し	西日本会パートナーズクラブ	片山次長
10月17日	九州経済の動向	株式会社 大垣共立銀行	八尋部長
10月31日	九州をとりまく経済情勢	財務省税関研修所 門司支所	片山次長

11月20日	九州企業のアジアビジネス	九州大学	高木常務理事
11月21日	New order in Northeast Asia And Peace Prosperity on the Korean Peninsula	韓国ハンギョレ統一文化財団	加峯次長
11月28日	定例会講演	熊本県工業連合会	岡野次長
12月17日	九州経済の現状と今後の見通し(福岡会場)	福岡県倉庫協会	八尋部長
12月18日	九州経済の現状と今後の見通し(北福岡会場)	福岡県倉庫協会	八尋部長
12月22日	厳しさを増す経済環境分析見通し	(社)福岡県精神科病院協会	片山次長
1月14日	福岡の商業環境と今後の都心プロジェクト	大村文化学園大村美容専門学校	片山次長
1月24日	2009年の九州経済	NCB 経営情報サービス	片山次長
2月10日	九州経済の現況	(株)ローソン	片山次長
2月12日	2009年九州経済の行方	福岡県経営者協会	八尋部長
2月14日	世界金融危機と九州経済の動向	九州青年やまづみ会	豆本主任研究員
2月18日	九州経済の現況	(社)日本人材派遣協会	片山次長
2月24日	第2回なつかしの国石見・新産業セミナー	財団法人しまね産業振興財団	八尋部長
3月7日	これであなたも釜山通!データとブログで読み解く釜福往来	釜山福岡アジアゲートウェイ2011 実行委員会	加峯次長
3月9日	2009年度九州経済並びに福岡県経済の見通し	福岡生コンクリート工業組合	片山次長
3月23日	アジア自動車の展望と課題	財団法人海外技術者研修協会	平田主任研究員
3月24日	九州経済の見通し	NCB 経営情報サービス	片山次長
3月25日	世界同時不況と地域企業	西日本会パートナーズクラブ	片山次長
3月27日	九州経済の見通し	日本電機工業会 福岡支部	片山次長

②非常勤講師

派遣先 福岡大学、九州産業大学、福岡国際大学、福岡工業大学、熊本学園大学
派遣数 研究員 6名

③福岡経済同友会からの事務受託

会員数 431名(平成20年度末)
決算 63,606(千円)(平成20年度)
会合数 158回(うち共催・後援12回)(福岡経済同友会+九州経済同友会)

平成20年度の主な活動(九州経済同友会を含む)

A 提言活動

福岡経済同友会

- ・北九州部会…「選ばれる街、北九州10の提言
～ワークライフバランス社会の実現にむけて～」
- ・福岡部会…「住んでよし、訪れてよし、の国際都市『福岡』の創造
～回遊が楽しめる都心～」

九州経済同友会

- ・企画委員会…「九州における地球温暖化抑制のための行動憲章」
- ・九州はひとつ委員会…「『フードアイランド九州』の形成に向けて」

B その他

福岡経済同友会

- ・福岡県知事、福岡市長、北九州市長との意見交換会
- ・メンタリング事業(同友会会員によるベンチャー経営者などへのアドバイス)
- ・韓国視察、中国華南地区視察
- ・新潟経済同友会との相互訪問・相互視察
- ・若手首長による特別シンポジウム(平井鳥取県知事、古川佐賀県知事、吉田福岡市長)
- ・札幌広福・四極円卓会議の福岡開催
- ・全国経済同友会地方行財政改革推進会議への参加

九州経済同友会

- ・九州地域戦略会議夏季セミナー第5分科会(地球温暖化)の事務局運営
- ・道州制ビジョン懇談会 出席
- ・日本銀行白川総裁による特別講演会

④アジア半導体機構(ASTSA)からの事務受託

1) 幹事会

日時:平成20年6月25日

場所:福岡市(九州経済調査協会会議室)

2) ビジネスミッション

①インドー九州(日本)半導体ビジネスワークショップ 2008

日時:平成20年8月10日～16日

場所:インド(バンガロール、チェンナイ)

主催:日本貿易振興機構(ジェトロ)、インド半導体協会(ISA)バンガロール、Software Technology Park, India (STPI)チェンナイセンター、アジア半導体機構(ASTSA)

②香港ー九州(日本)半導体ビジネスワークショップ 2008

日時:平成20年10月12日～15日

場所:香港(香港サイエンスパーク)

主催:アジア半導体機構 ASTSA

協力:香港サイエンスパーク(HKSTP)、香港貿易発展局(HKTDC)

3) 第8回 半導体実装国際ワークショップ(MAP2008)

(The 8th International Workshop on Microelectronics Assembling and Packaging)

日時:平成20年11月26日～28日

場所:福岡市(JALリゾートシーホークホテル福岡)

主催:アジア半導体機構(ASTSA)、MAP2008 実行委員会、日本貿易振興機構(ジェトロ)、電子情報技術産業協会、福岡県、福岡市、北九州市、東アジア経済交流推進機構、福岡県産業・科学技術振興財団、九州経済調査協会、ふくおかフィナンシャルグループ

同時開催:アジア半導体機構ーインド半導体協会 MOU 締結式、SIIQダイレクト商談会、ふくおかフィナンシャルグループ商談会

⑤専門図書館九州地区協議会としての事業

A 九州地区関係

- (1) 会員の異動 入会 1 退会 0 (会員数 18 機関)
- (2) 理事会・総会 平成 20 年 5 月 29 日 於 福岡市
- (3) 平成 19 年度版九州官公庁刊行物目録の編集・刊行 (平成 20 年 11 月刊行)
26 機関の平成 19 年度中の刊行物 約 3,000 点を収録 800 部 A4 62 頁
- (4) 第 39 回情報管理セミナー
実施時期 平成 20 年 11 月 19 日
内 容 「図書館改革の方向性」 新たなネットワークを求めて
I 部 14:00-15:00
演 題 「議会図書室の挑戦」
講 師 小濱 洋明氏 鳥取県議会事務局 議事調査課長兼図書室長
II 部 15:10-16:10
演 題 「変貌する書籍産業と図書館」
講 師 新田 満夫氏 (株)雄松堂書店 代表取締役会長
受講者数 29 名
- (5) 受入図書資料数 349 点
- (6) 配布資料 974 点

B 全国関係

- (1) 理事会・総会 平成20年6月17日 於 東京都
- (2) 全国研究集会 平成20年7月24日～25日 於 京都市
テーマ 「京都からのメッセージ～成長するライブラリアンへ」
- (3) 地方議会図書室等職員セミナー 平成20年10月30日～31日 於 東京都
テーマ 「議会図書室の利用促進について～広報のあり方を探る」
- (4) 秋季セミナー 平成20年12月4日～12月5日 於 東京都
テーマ 「図書館の存在感を高めるには～図書館と図書館員の PR」

2. 60周年記念事業 事業報告

(1) 自主的政策研究

①九州・山口の地域産業の新たな挑戦に関する調査(2カ年継続)

九州各地の地場産業の産地は、海外との競争や後継者不足等の課題を抱え、厳しい現状に直面しているところが少なくない。そうした中、地場産業の産地では、高付加価値化や海外への販路拡大、新分野への展開を図る新たな動きもみられる。

本研究では、地域資源を活用し、地域経済を支える産業を新たに「地域産業」と定義し直し、発展の条件や課題を明らかにする。平成20年度～平成21年度に地銀調査担当部署や地域シンクタンクと共同研究を実施し、その成果を「地域産業の新たな挑戦」(仮題)として刊行する。平成20年度は3回の研究会、エクスカージョンを実施した。平成21年度は、新しい定義に合致した地域産業について、調査、執筆作業を進める。

②九州の政策課題と主要プロジェクトに関する調査

国や地方の財政逼迫により、大型公共事業はハードを中心に大幅に削減されてきた。国や地方自治体は、限られた予算の中で地域振興に結びつく施策を絞り込み、効率よく、効果的に予算配分することが求められている。

本研究では、九州が直面する主要な政策課題を取り上げ、国や各県、主要都市が九州各地で実施、計画、構想しているハード、ソフトの主要プロジェクトについて概要のとりまとめを行う。

③平成の市町村合併と地域経営に関する調査(2カ年継続)

平成の大合併により、九州でも市町村の姿が大きく変貌したが、多くの市町村で財政が逼迫しており、新たな地域経営のあり方が模索されている。また、最近の道州制の議論では、基礎自治体である市町村の役割が重要なテーマになっている。

本研究では、平成大合併後の市町村の現状を、統計分析を中心に「新しい九州地域の姿」として提示するとともに、市町村の新たな展開方向をさぐり、今後の地域経営に向けて必要な施策を提言する。

(2)ブレーンサポートセンター創設

①企画展「ドラマティック！九州経済」の開催

「ドラマティック！九州経済」とは、九州「発」の技術や製品・サービスを、企画展示や映像等を通じて紹介し、九州の地域経済や企業の魅力を若いビジネスマンや学生等に伝える事業である。平成 20 年度事業として、鹿児島で「ドラマティック！九州経済 in 鹿児島」を開催し、展示会やパネルディスカッションなどに 800 人が参加した。平成 21 年度は、2 県での開催を進め、鹿児島で得た経験をもとに、内容の充実を図っていく。

②「新着本お知らせメール」システムの導入

平成 20 年度は、ホームページの図書館検索システムを改良し、「新着本お知らせメール」システム（オプトイン・システム）を導入した。会員企業にあらかじめキーワードを登録してもらい、そのキーワードに関する本や資料が経済図書館に入れば、自動的に会員企業にお知らせメールを送るサービスを実施している。また、登録されたキーワード分析を通して、書籍、資料の収集、さらに調査研究のテーマや講演会の講師の選択にも利用している。

③インターネット・ブックレビュー「21 世紀の本棚」の制作

経済人、行政のトップ、研究者などが九州に関する本の紹介や論評をするインターネット上のブックレビュー「21 世紀の本棚」を制作した。ブックレビューを通じ、九州経済を担う学生や若手ビジネスマンに必要な教養や話題を提供し、リーダーとして成長するためのツールとなることをめざしている。今後、多くの有識者の協力を得ながら、九経調のホームページ上で展開していく。

④ブレーンサポート事業の実施

主要会員企業からの要望に応じて、九経調のレポートや統計データ、新聞・雑誌などをもとに、「消費の動向」、「知の連携」等のテーマでミニレポートを作成した。スピードが求められる要望も多く、迅速に対応できる体制と仕組みづくりを進めていく。

(3)映像「60 周年九州経済特集」の制作

九州経済や産業の歴史、未来に向けた提言を各界を代表する有識者に語ってもらい、それを映像化する「映像でみる九州経済」の制作を進めている。平成 20 年度は、鹿児島銀行の大野芳雄会長、九経連の鎌田迪貞会長のインタビュー映像や高校生がアジアを知るための教育映像、九経調の紹介 DVD などを制作した。また、九州地域戦略会議の様子なども撮影しており、今後の映像作品の中で使用していく準備をした。